

授業科目名(英文名)	都市建築計画特論B (City & Architectural planning B)			
担当者名	廣田 篤彦			
学年	1	学期	後期	必修選択
教科書				
目的または到達目標	GISの基礎を理解し、都市建築分野での分析例と手法について学習する。			
授 業 内 容	<p>GIS(Geographical Information System)とは地理情報システムのことであり、位置に関するデジタル情報を持った地理的事象(地図データ)を視覚的に表現し、分析や検索、シミュレーション、管理などを行う技術の総称である。今日、GISは国のIT基本戦略に位置付けられ、都市工学や環境学、造園学、農学、マーケティングなど、多方面でこの技術が応用されてきており、各種官公庁や民間企業など、積極的な取り組みが進んでいる。</p> <p>本講座では、GISの最も代表的なソフトウェアであるESRI社のArcGISを例として、GISの基礎および基本操作を習得するとともに、都市・建築に関わる分析・研究への応用例とその手法について、演習を交えながら学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GIS入門 2. ArcGISとは 3. データの表示と作成 4. ArcViewの基本操作 5. データベース操作とアドレスマッチング 6. shapeファイルの作成 7. データ編集 8. 空間解析 <ol style="list-style-type: none"> 8-1 パッファ解析 8-2 ディゾルブ 8-3 クリップ 9. 経年変化による土地利用変容の分析 10. ジオリファレンス 11. アジャスト 12. ラスタ解析(1)気象データ、標高データの補間 13. ラスタ解析(2)商業施設の出店計画、防災計画 14. ダウンロードデータの利用 15. 3Dアナリスト 			
関連科目				
受講心得	修士課程1年生を対象とする。			
課題・質問等の受付方法				
授業の形式				
履修上の注意または履修条件				
成績評価の方法	出席、レポート、演習			
参考文献及び指定図書				